

大事な命を守るために
外国人住民と日本人住民がともに学ぶ
防災ワークショップを開催します



ターゲット 10.2

令和4年8月25日
郡山市文化スポーツ部
国際政策課
課長 石井 章浩
TEL：924-3711

SDGs ターゲット 10.2 「各国内及び各国間の不平等を是正する」

外国人住民と日本人住民が、お互いに声かけできる関係性をつくり、外国人住民の安全・安心の確保及び災害時の迅速な対応を促すため、外国人住民と日本人住民がともにやさしい日本語で学ぶ防災ワークショップを開催します。

- 1 日時 8月30日(火) 午後2時30分～午後4時00分
- 2 場所 こおりやま東都学園 郡山健康科学専門学校 第3校舎 3階大講義室
(図景2丁目9-3)
- 3 内容 (1) 防災VR体験※
(2) 日本語講座(防災に関する言葉の紹介)
(3) 防災講座(クイズやハザードマップ等を使ったワークショップ)
※福島県危機管理課の機材を借用
- 4 参加者 郡山健康科学専門学校のネパール人留学生 20名(予定)
上記の留学生が住む地域の町内会の会員 5名(香久池2名、小原田3名)
- 5 講師 (1) 一般社団法人ふくしま多言語フォーラム
日本語講師 永島 恭子 氏
(2) 郡山市防災危機管理課職員

<前回(令和3年度実施)の様子>



<やさしい日本語>

やさしい日本語は、外国人等にもわかるように配慮して、簡単にした日本語のこと。1995年の阪神・淡路大震災をきっかけに、外国人に対しても迅速に災害などの情報伝達を行う手段として災害時のやさしい日本語での発信の取組が全国に広がっている。近年では、外国人観光客とのコミュニケーションや、外国人住民と日本人住民の交流を促進する手段としてやさしい日本語を活用した取組が進んでいる。